

用語解説集

からだの性別: Sex Characteristics 割り当てられた性別、戸籍上の性別、法律上の性別とも

生後14日以内に(国外での出生時は3か月以内に)、出生届に性別を書き込んで提出することが戸籍法で定められており、一次的に外性器の特徴で男女に分けられ性別が記載される。外性器での判断が難しい場合は、出生届の性別や名前を未載のまま提出することが可能である。医療機関での診断や治療により、後日追完することが可能である。また、からだの発達は一人ひとり異なる。

性自認: Gender Identity 自分が認識する自分自身の性別

シスジェンダー(Cisgender)

からだの性別と自分が思う性別とが一致している状態

例えば、「からだの性別が女性で、自分自身を女性と思っている。」や「からだが男性で、自分のからだに違和感が全くない。」などがある。

トランスジェンダー(Transgender)

からだの性別と自分が思う性別とが一致していない状態

例えば、「自分が思っている自分自身の性は男性で、からだは女性である。」や「からだは男性で、声変わりすることや男性的に成長することに違和感がある。」などがある。

Xジェンダー

女性か男性かのどちらかだけに属するのではない状態

※特に若年層が性自認に違和感を抱き、「女性」か「男性」のどちらかに自分をあてはめようと焦り困惑している場合は、周囲が性自認に関する正しい情報や知識を与えることが重要と考えられる。

クエスチョニング(Questioning)

性自認について悩んでいるが「わからない」「決められない/決まらない」などの状態

例えば、「自分の性別に違和を感じるが、異性になりたいのか決めることができない。」や「前は、自分自身のことをトランスジェンダーだと思っていたが、今はシスジェンダーだと思う。この先どう思うのかわからない。」などがある。

※二次性徴や思春期など、成長過程においては性自認に関して「流動的」であることが少なからずあるため、周囲(特に身近にいるおとな)による一方的な決めつけは避け、正しい情報や知識を得ながら、本人の悩みや考えに傾聴しながら時間をかけて寄り添うことが重要と考えられる。

性別表現: Gender Expression 自分の表現する性別/周囲に判断される性別

性自認とは別に、自分らしい言動や服装などが社会においてどのように見なされているのか、または社会において自分がどのような言動や服装をするのか、という性別表現がある。

例えば、「お菓子作りが趣味、ピンクの服を着る、髪をピンでとめる、優しい口調」であれば「女性」と判断されたり、「昆虫採集が趣味、黒い半ズボンをはく、スポーツ刈りをする、一人称がオレ」であれば「男性」と判断されたりすることが多くある。

この「周囲に判断される性別」に悩み、「自分のからだの性別には違和を感じることはないけれど、周りから『女子なのに男子みたい』とよく言われるので、自分は男なのかもしれない」という場合もある。

別の例として、自分の(男性である)からだに違和感を抱いており、性別適合手術を受けて女性として生活をしたいと願っていても、そのことを誰にも言えず(カミングアウトをせずにいることをクローゼットと言う。)、また誰にも知られたくないために、「男性らしい」と言われるような服装やしぐさをあえてする場合もある。

「女性らしさ」や「男性らしさ」よりも「その子らしさ」が尊重される教育環境が重要と考えられる。

性的指向: Sexual Orientation

恋愛感情や性愛のあり方

ヘテロセクシュアル(Heterosexual)... 性的指向が異性のみに向く異性愛

レズビアン/ゲイ(Lesbian/Gay)..... 性的指向が同性のみに向く同性愛

※レズ、ホモは差別的用語とされている。

※性別に関わらず同性愛者をゲイと表現することもある。

バイセクシュアル(Bisexual)..... 性的指向が同性に向く場合もあれば異性に向く場合もある両性愛

アセクシュアル(Asexual)..... 性的欲求が誰にも向かない無性愛

アロマンティック(Aromantic)..... 恋愛感情が誰にも向かない

※恋愛感情が誰かに向くことはあるが、性的欲求は誰にも向かないという場合もあれば、恋愛感情は誰にも向かないが、性的欲求は誰かに向かうという場合もある。また、恋愛感情と性的欲求の両方が誰にも向かない場合もある。

シスジェンダー(C)とヘテロセクシュアル(H)にあてはまる人が多いため、「多い＝普通、少ない＝普通じゃない」という誤った考えがまだ存在する。

多くても少なくとも、ひとりひとりが多様な性を構成する一員であるという認識をもつことが重要である。

知っておきたい大事なことば

アライ

性自認、性別表現、性的指向について「自分ごと」として知り、性の多様性に関する差別をなくすための行動をおこす人のこと。また、その人たちの行動をアライシップと呼ぶ。

アウトティング(暴露)

本人の同意なしに、その人の性自認や性的指向、またそれらを特定し得る情報を第三者に暴露する行為。

マイクロアグレッション

普段、何気ない言動の中に含まれる差別的または侮辱的な表現のこと。(マイクロアグレッションと見受けられる言動は無意識にされることが少なくない。)

カミングアウト

性的少数者が自身の性自認や性的指向などを誰かに打ち明けること。

アンカンシャスバイアス

無意識の偏見と呼ばれ、程度の差はあるが誰にでもあるものと言われている。例えば、「女性であれば家事ができなければならない。」「ゲイ(男性同性愛者)の人はオシャレでしぐさもしなやかだ。」などがある。

アクティブ・バイスタンダー

いじめや嫌がらせなどの被害を止めるために、積極的に行動をおこす第三者のこと。